※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	手話Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では聴覚障がい者の生活・社会背景について理解し、手話を通じたコミュニケーションを学びます。授業ではオリジナルプリントを中心に映像教材や実技などを通じて必要な技術を身につけます。将来、福祉や看護の分野に関心のある生徒、身近な人のために役立てたい生徒にぴったりです。

2　学習の到達目標

聴覚障がい者の生活・社会背景について理解し、手話を通じたコミュニケーションを学びます。
(1) 聴覚障がい者の生活・社会背景、手話を通じたコミュニケーションについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けて活用している。
(2) 聴覚障がい者の生活・社会背景、手話を通じたコミュニケーションに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けて活用している。
(3)手話を通じたコミュニケーションについて自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けて活用している。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	聴覚障がい者の生活・社会背景、手話を通じたコミュニケーションについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けているか定期テスト等で評価する。	聴覚障がい者の生活・社会背景、手話を通じたコミュニケーションに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けているか定期テスト等で評価する。	手話を通じたコミュニケーションについて自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体 的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか、映像教材の感想や小論文等で評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	身近な手話表現①	(1)学校生活で使用する表現 (2)絵本を活用した表現	a:学校生活や絵本を活用した表現について基本的な知識を身につけている。 b: 学校生活や絵本を活用した表現について考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 学校生活や絵本を活用した表現について知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	感想プリント
	身近な手話表現②	(1)豊かな手話表現の工夫	a: 豊かな手話表現の工夫について基本的な知識を身につけている。 b豊かな手話表現の工夫について考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 豊かな手話表現の工夫について知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート、定期テスト	ワークシート、定期テスト	感想プリント
後期	身近な手話表現③	(1)進路に生かせる手話の表現	a: 進路に生かせる手話の表現について基本的な知識を身につけている。 b: 進路に生かせる手話の表現について考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 進路に生かせる手話の表現について知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	感想プリント
	手話を応用した表現	(1)手話歌 (2)手話スピーチ	a: 手話歌や手話スピーチについて基本的な知識を身につけている。 b: 手話歌や手話スピーチについて考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 手話歌や手話スピーチについて知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート、定期テスト	ワークシート、定期テスト	感想プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度